

12月1日 1933年藤子・F・不二雄氏が生まれました。

今年、藤子・F・不二雄氏の生誕80年ということでNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」で取り上げられていました。代表作は「ドラえもん」1969年～1996年、全1344話が描かれ、コミックスは45巻、映画は現在も作製されていて34編、世界30カ国以上で読まれています。

最初に「ドラえもん」がデビューしたのが1969年なら、おっちゃんも「ドラえもん世代」なのに、「オバケのQ太郎」や「パーマン」の方になじみがあるのは、どうしてなのかと思ったら「ドラえもん」が人気になったのはデビューしてしばらくしてからのことのようにです。

「オバケのQ太郎」や「パーマン」は、主題歌が今でも歌えます。もちろん旧作 ♪ Q Q Q オバケのQ ♪の方。TVも白黒テレビで見えていました。その後、20数年たって子供と一緒に、「ドラえもん」や「キテレツ大百科」をよく見ました。

今でも「ドラえもん」のアニメが放送されて、こどもたちに夢を与え続けているなんてすごいこと。親子2代どころか、もう3代になりますね。

もしかしたら、「ドラえもん」のやってきた22世紀まで続いたりして?! 100年って長いようで案外短いかもしれませんよ。またひとつ、日本人の宝物を見つけた気がします。

「プロフェッショナル 仕事の流儀」の中で藤本氏は「漫画は1作1作、初心に帰って苦しんだり悩んだりして描くもの・・・」とっていました。

ふと、「日々新たなり」を座右の銘にしていた松下幸之助氏とダブってしまいました。

12月2日 1990年TBS記者の秋山豊寛氏がソ連の宇宙船ソユーズTM11号で日本人初の宇宙飛行を行いました。

本来は、毛利衛氏のスペースシャトルでの飛行が日本人初となるはずでしたが、1986年のチャレンジャー号爆発事故で、毛利氏の飛行予定が遅れ、秋山氏が先に宇宙飛行を行うようになりました。

秋山氏が宇宙に行き、その生放送の第一声は「これ、本番ですか?」でした。もっと感動的な第一声を考えていたそうですが、地球との交信は、ソ連宇宙飛行管制センターとの交信を割り込んだものだったので、本番ですか? となったようです。

本人が回想するに、放送人らしい第一声だったと言っています。

秋山氏は、その後早期退社し、福島県に移住してお米作りを始めたそうです。その理由は宇宙に行ったことで、お金や権力や名声などに興味がわかなくなったこと、人間にとってよりよい環境やライフスタイルを考えるため宇宙に行ったにも関わらず、自分自身の不摂生な暮らしに疑問を持ったこと・・・

宇宙に行ったことで、人生観が変わったと言うわけですね。しかし、秋山氏にとって再び人生観を変える出来事

がありました。福島原発の事故です。

秋山氏は、福島土地から離れ、農業を続けたり教鞭をとったり講演をして、無農薬農業、原発、原発難民などの話をしておられるようです。

少し前に書かれた文章ですが、『『がんばれ東日本』などと言って汚染された食品を全国に流出させるのではなく、『頑張れ西日本』と言って、西日本の農家に国民のためにさらなる頑張りを求めるべきなのだということ』とあります。

過激な意見かもしれませんが、元ジャーナリストの冷静な意見のようでもあります。もともとの福島県民ではないから、言い切れるのかもしれませんが。

12月3日 カレンダーの日

太陽暦採用に伴い明治5年12月3日（旧暦）が明治6年（1873年）1月1日となりました。それを記念して、全国団扇扇子カレンダー協議会が1987年に制定しました。

つまり、失われた明治5年12月3日を悼む記念日とも言えます。

改暦は明治5年の9月ごろから政府内では決定していましたが、世間に発表したのは11月9日のことでした。ひと月足らずで新しい暦が変わると聞いた人々は驚きました。すでに太陰暦の明治6年の暦が発売されていたから、業者も大慌てだったようです。

急な改暦の裏には、政府の財政難があったようで、当時参議であった大隈重信の回顧録には、来年は閏月があって月給を13回払わねばならない。それを避けるためにも改暦しなければならないと書かれていました。

しかも、明治5年の12月は2日だけなので、これも給料なしだったとか。

もちろん開国して間もない日本が外国と対等に付き合うために、太陽暦の必要性を感じ休日を日曜日とすること、節句を休まないことなどを実施するためだったこともあります。

旧暦には、日がいいとか悪いとか方向がどうかの迷信も多く書かれていたので廃止したかったようです。当時の学者や政治家にとって古臭い日本の風習は恥ずかしかったのでしょうね。

この改暦でもう一つの変ったことは誰でも自由に暦を作ることが出来るようになったことです。それ以前に日本で作られていた暦は、古くから天文・暦数・陰陽道を司ってきた公家の土御門家に冥加金を支払って地方で暦を印刷する弘暦者だけが作り、配布、販売を行うことが出来ました。この冥加金の総額は、今の価値で3億円程度になったようです。

それが、明治5年（改暦前）に弘暦者が頒暦商社として一つにまとめられ、専売性になりました。改暦で大きな損害を被った頒暦商社は、その後10年の専売を認められましたが、期限が切れてからは、誰でも暦を製造販売できるようになりました。

太陽暦になってからでも、太陰暦は庶民のあいだに広く使われており、戦後 1947 年の調査でも 44%の人が太陰暦に頼って暮らしていると答えました。当時の混乱ぶりが想像できますね。

12月4日 1868年エドワード・ガントレットが生まれました。

エドワード・ガントレットは、イギリス出身の語学者であり音楽家としても有名で、1941年、日本に帰化しています。妻は山田耕筰の姉の山田恒で、ガントレット恒子の名で日本キリスト教婦人矯風会の主力メンバーとして旺盛に活動しました。

なんで、ガントレット？と思われるでしょう。ガントレットは開校したばかりの第六高等学校に赴任し、岡山におけるエスペラント普及活動の第一人者となりました。

また、山田耕筰が13歳のときに姉のいる岡山に来て、ガントレットからパイプオルガンや西洋音楽の手ほどきを受けました。後に日本を代表する作曲家となる基礎がここで培われたのです。

岡山はエスペラントの先進地として知られており、弟子には社会主義者の大杉栄、山川均や山陽女子高等学校の校長上代淑などがいます。

ガントレット氏と恒子さんは国際結婚の草分けともいえるカップルで、婚姻届は日本の役所では受け付けてもらえなかったのだとか。子供6人に恵まれた二人にとって岡山での暮らしは、たいそう楽しいものだったようです。

上代淑とはエスペラントと音楽で交友がありました。上代淑と言えば、あの新島八重さんに講演を依頼していますが、それもこの頃です。岡山の地に多くの著名人が集った時代ですね。

12月5日 1695年（元禄8年10月29日）中野に16万坪の犬小屋が作られ、その住民が強制退去となりました。

徳川綱吉が發布した「生類憐れみの令」の一環として行われた野犬保護施設で、犬を囲って飼育したことから「お囲い御用屋敷」とも言われました。中野4丁目あたりの旧町名「囲町」はこれに由来するそうです。

「生類憐れみの令」はひとつの法令ではなく、いくつものお触れを総称したもので、犬だけではなく、猫、鳥、魚類・貝類・虫類などの生き物、さらには人間の幼児や老人にまで及んでいます。

捨て子を禁止し7歳以下の子供と妊婦を登録させました。また病人や老人をまだ息があるうちに捨ててはいけないとか、牢獄の環境を改善し囚人を月に5日は入浴させるようにというお触れもありました。

犬に関しては、当時日本全国で野犬被害がたくさんあったようです。岡山の池田藩でも1679年（延宝7年）犬の飼育を禁じ、町にやってきた犬を追い払うように法令が出されています。また野犬対策で犬を駆除するのは、仏教の教えに反するので、それを未然に防ぐために犬を飼うことそのものを禁止したようです。

綱吉は「犬公方」と言われ、よい印象もなく、「生類憐れみの令」は迷惑極まりない悪法と歴史で習った気がしま

すが、最近の研究で綱吉の評価は違ってきたようです。法政大学の根崎教授が興味深い研究を発表されていますし、教科書の記載も変わってきているらしいです。

綱吉を暗君に仕立てたのは、後の学者新井白石の仕業だったとか・・・綱吉は徳川将軍の中でも、なかなかの名君だったと評価する研究者もいます。

「生類憐れみの令」は綱吉の死後すぐに廃止されたと言われますが、極端なお触れだけが廃止され動物愛護や福祉にかんする法令は、その後も長く残されたそうです。

現在のように、狂犬病予防があつたわけでもなく、避妊の技術があつたわけでもない江戸時代は、増えすぎた犬の処分に本当に困ったと思います。だからといって、生き物をむやみに殺す風潮も見逃すことができませんし、綱吉もさぞ頭を悩ませたことでしょう。

12月6日 1890年仁科芳雄博士が生まれました。

日本の原子核物理学の父と言われる仁科芳雄博士は浅口郡里庄町浜中の生まれで、幼い頃から秀才の誉れ高く、岡山中学（一中）、旧制第六高等学校（六高）を主席で卒業しました。

1906年に父親が亡くなってから兄の支援で学校に通いましたが、学費の負担をかけたくないとの思いから進学を諦めたこともあったそうです。「秀才の仁科が進学しないのは日本の損失」とまで言われ家族や友人の支えで東京帝国大学の工科大学電気工学科に進学しました。大学を卒業後は理化学研究所の研究員になりました。

7年間のヨーロッパ留学を経験し、理研の長岡半太郎研究室に所属したのち、自らの研究室を立ち上げてサイクロトロン（加速器）の実験を始めました。また、陸軍から当時注目されていたウランを用いた新型爆弾の開発を依頼され、原爆の開発を手がけることになりました。この開発は仁科の「に」から「二号研究」と呼ばれました。

もちろん原爆は完成することはなく、サイクロトロンも終戦後GHQによって東京湾に投棄されました。広島、長崎に原爆が投下された時には、現地調査を行い、それが原爆であることを証言したり、ラジオで原子爆弾の解説をしたりしたそうです。

もちろん、仁科博士は戦争に反対の立場でしたが、恐ろしい原爆の開発に携わるようになったことをどのように考えていたのでしょうか。ただ戦後「日本の復興には科学技術を始め、学問をすることが大切だ」と力説しています。科学は戦争のためでなく平和のために大いに役立つべきだと・・・

仁科博士は、温かく親しみやすい人柄で、多くの研究者が集いました。ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士や朝永振一郎博士とも交友がありました。後進の育成に心血を注ぎ、影響を受けた研究者達は多くの功績を残しています。

理化学研究所と言えば、高峰譲吉、渋沢栄一らによって設立され、現在の独立行政法人理化学研究所へと続いています。多くの業績を残しています。特にスーパーコンピュータ「京」運用に関しては、みんなの知るところでしょう。

12月7日 1950年 岡千秋が生まれました。

備前市日生町の出身で、作曲家、演歌歌手、マッシュルームカットとちょび髭がトレードマーク、1983年の都はるみとデュエットした「浪花恋しぐれ」は大ヒットしましたね。

第25回日本レコード大賞特別金賞・第15回日本歌謡大賞大賞などを受賞し、その年の紅白歌合戦に出場しました。

芸のためなら 女房も泣かす
それがどうした 文句があるか……

桂春団治と妻のお浜の夫婦愛を歌ったもので、この桂春団治は、(1878年8月4日～1934年10月6日)に活躍した人で、破天荒な生き様と天才的な芸風で人気のあった上方の落語家です。

そうそう、歌には確か台詞が入るんです。

酒や！酒！ 酒こうてこい～～～。

当時は夫婦の機微なんてわからない頃でしたから(笑)それ、ダメでしょ！て思いましたけどね……。そんな恋女房がいたら、男冥利に尽きるってもんでしょう。

12月8日 1946年シベリア抑留の復員船第一号(大久丸、恵山丸)が舞鶴港に入港し、約5千人が帰国しました。

太平洋戦争開戦の日でもありますが、こちらは終戦にまつわるエピソードです。

学校では、シベリアに抑留された人のことを教えないそうですね。それでも、映画や小説、ドキュメンタリーなどで、その過酷な労働や大勢の人が亡くなったことを知る機会はたくさんあります。

終戦時、ソ連の占領した満州・北鮮・樺太・千島には戦闘員・非戦闘員あわせ約272万6千人の日本人がおり、そのうち約107万人がシベリアやソ連各地で強制労働させられたようです。

しかも帰国を果たせた人は、そのうちの43万人程度とされています。ナホトカから舞鶴に復員兵を運んだ船は延べ230を数え、1956年12月26日を最後に終了しました。

シベリア抑留の復員船と言えば、やはり連想するのは「岸壁の母」ですね。

母は来ました～ 今日も来た
この岸壁に 今日も来た

そして、この歌にも確か台詞が……(昨日と同じ流れ)

港の名前は舞鶴なのに

なぜ飛んできてはくれぬのじゃ・・・

一説によると、岸壁の母の息子は、実は生きていて母が待っていることを知っていながら日本には帰ってこなかったとか・・・。

なぜ帰らなかったのかは本人しか分からないことですが、故郷が懐かしくなかったはずはありません。待ち焦がれていた母親も不憫でなりません。

12月9日 1939年 2代目市川猿翁が生まれました。

昨年6月、甥の二代目市川亀治郎に四代目市川猿之助を譲り、自らは二代目市川猿翁をとって襲名しました。

猿翁というより、三代目猿之助と言えば、宙乗りであり、スーパー歌舞伎なのです。『義経千本桜』『四ノ切』で初めて宙乗りを披露したのが1968年。

明治初期の演劇改良運動以来、邪道とされた「宙乗り」や「早変わり」といった仕掛けを使う演出（ケレン）を次々に復活させ、見ごたえのある舞台は多くの観客に支持されました。

しかしながら、当初は他の歌舞伎役者や評論家からは酷評されていました。

そもそも猿翁は、血筋を重んじる歌舞伎界にあって、祖父、父を早くに亡くし、後ろ盾のない「梨園の孤児」と言われていました。そうした中で、自分を強烈にアピールする方法として「宙乗り」を考えたのかもしれませんが。

明治になって、文明開化が叫ばれるようになると日本古来の歌舞伎は荒唐無稽で外国人や貴人が見るには不適當だと考えられました。そこで道徳的な筋書きが考えられたり、新しい演出をしたりしました。

明治の初期と戦後は、価値観が大きく変わった時期ですが、その変化が極端なのが日本人の特徴というか・・・今から考えれば、可笑しいこと。

歌舞伎が円熟した江戸時代に、役者や裏方の職人が観客を喜ばせるために苦心した技術を、復活させたのが猿翁でしょう。また、現代語によるスーパー歌舞伎などさまざまな試みを重ねて、歌舞伎の過去と未来を開拓したとも言えるのではないのでしょうか。

江戸時代、庶民のエンターテインメントであった歌舞伎、そして現代にあっても、エンターテインメントとして観客を喜ばせて欲しいものです。

12月10日 1901年田中正造が足尾銅山の鉱毒事件について明治天皇に直訴しました。

足尾銅山は江戸時代の初めに開山し大いに栄えたそうです。寛永通宝が作られたこともあって、銅は大変貴重なものでした。江戸時代のピーク時には年間1,200トンも採掘されていました。

その後減少し明治の初めには閉山寸前だったようですが 1881 年（明治 14 年）に新しい鉱脈が発見され、足尾銅山は復活しました。

しかし、急激な開発が鉱毒事件を引き起こすことになりました。川の魚が死に、有毒な煤煙で木々が枯れ、米も育たなくなりました。

人々の健康被害も相次ぎ、下流の水田で実ったコメからはカドミウムが検出される深刻な事態になりました。住民による鉱毒反対運動も起こってきました。

田中正造は歴史でも習いましたが、特に有名なのが明治天皇への直訴です。当時の天皇は「神聖にして侵すべからず」と憲法に記されていた現人神ですから、直訴は極刑を免れません。

正造は、自分の命をかけて鉱毒問題を世間に公表したかったのです。それほどまでに、政府が人々の声を無視し続けていたということでした。

鉱毒事件の経緯と被害地域の人々が苦しんでいることを手紙にまとめた直訴状を書き、妻に離縁状を残し、紋付袴の正装をして天皇の馬車へと駆け寄りました。

正造は極刑を免れましたが、この事件が報道されたことで世論が起きました。政府は被害地域の人々を強制退去させ谷中村の廃村を決め、この問題を沈静化させようとした。

天皇に直訴と言え、なにか最近、そんなような事件（？）があったような・・・

結局、担当相の息子がこの会社の養子になっていたり、癒着があったりして根本的な解決は無かったようです。ですから、現在でも鉱毒問題は完全には解決していないと言われています。

廃村になった谷中村の少女が田中正造の紹介で東京に出て、多くの人と出会って成長するというドラマが来年 1 月に放送されるようです。

今なお終わらないと言われる足尾鉱毒事件、そして村を追われた人々と言え、福島原発問題ともオーバーラップするのですが、どのようなドラマになるのか気になりますね。

12 月 11 日 1993 年 屋久島・白神山地・法隆寺地域の仏教建造物・姫路城の 4 か所が世界遺産に決定しました。

世界遺産は 1972 年第 17 回ユネスコ総会で、世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）が満場一致で成立し、1975 年発効しました。

1978 年にはアメリカのイエローストーン国立公園やエクアドルのガラパゴス諸島など 12 箇所が最初の世界遺産に登録されました。

日本は 1992 年に世界遺産条約を批准したことで、翌年先の 4 箇所が日本初の世界遺産に登録されました。現在

日本では、文化遺産が13箇所、自然遺産が4箇所世界遺産に登録されています。

岡山からは両隣の県に世界遺産があるのですね。今、平成の修理が行われている姫路城は、安土～江戸初期に建てられた天守閣や櫓など、主要な建物が建設当時のまま残っています。

幕末に新政府軍に包囲されたり、第二次世界大戦で焼夷弾が天守に直撃（実は不発弾）したりしたものの、奇跡的に戦火にさらされることなく不戦の城と言われるとおりなのです。

修理工事も来年には完成の予定です。修理の様子が見られるのもあとわずか。もちろん修理の終わった姫路城も楽しみです。また来年の大河ドラマ「黒田官兵衛」は姫路城ゆかりの人物ですから「今、姫路城が熱い」かも？！

12月12日 1903年小津安二郎氏が生まれ、1963年亡くなりました。

生誕110年となる今年、ベルリン国際映画祭で代表作『東京物語』が特別上映され、再び脚光を浴びている小津ワールド。イギリスのSight&Sound誌が10年に一度発表する「映画監督が選ぶベスト映画」2012年度版で『東京物語』は1位に選ばれました。

「東京物語」は1953年の制作で、映画全体はスローテンポでカメラアングルが低く、抑揚のない淡々とした感じは古臭いかもしれませんが、今と変わらない家族の関係や情緒に共感もてます。

これは、おっちゃんがそういう歳になったからかもしれません。原節子さん、きれいだし！！

小津の作品は、いかにも日本的といわれますが、ハリウッド映画をよく研究して自分の映画を作り上げたそうです。画面の構図にはじまり、小道具ひとつの配置から役者の視線に至るまで計算し尽された美しさがあると言われていますが、それはハリウッド映画から学んだものだそうです。

没後50年、一時は「過去の映画監督」と言われたのが、今再び注目されているのは、小津が信念をもって自分の好きなことを追求していたことに尽きるでしょう。そこにある幸せな小津ワールドが人々を魅了するのだらうと思います。

12月13日 1877年 白井松次郎、大谷竹次郎が生まれました。

松次郎、竹次郎って誰？って感じですが、映画や演劇の制作、興行、配給の「松竹」を創業した人と言えはなるほど・・・と思われることでしょう。昨日取り上げた小津安二郎監督の映画も、ほとんどが「松竹」によるものでした。

松次郎、竹次郎の父親も相撲の興行主で、母親が売店をしていたそうです。双子の兄弟も若い頃から劇場の雰囲気親子ながら育ち、成長すると役者を連れて巡業をしていました。

「松竹」のサイトによれば、1895年京都の阪井座を買収して興行主になったのを機に創業したことになっています。松次郎・竹次郎は、江戸時代まで続いた旧態依然とした興行の世界に新風を吹き込み、ヤクザなどが興行に絡むことを禁じたり、看板役者が多額の報酬を受け門弟を抱える制度も変えて、役者の地位向上に努めたりし

ました。

明治末期には人気の低迷していた文楽の経営権を譲り受け、保存と振興にも尽力しています。1914年には歌舞伎座を直営にし、現在は歌舞伎の興行のほぼ全てを松竹が行っています。

関西の歌舞伎や人形浄瑠璃などの古典芸能の保護、振興に果たした役割は大きく、戦後も焼け跡に演劇場を復興させ、古典芸能や上方落語の再興に取り組みました。一時期、吉本興行に圧倒され、道頓堀角座が閉鎖になると大勢の芸人が吉本に移籍しましたが、今年再び道頓堀角座が開業し、松竹の復活を目指しています。

昨日、今日と松竹のつながりだったのですね。双子の兄弟が日本の芸能を支え振興したことを初めて知りました。そして松竹のサイトから歌舞伎のチケットを買うことができることも……。

12月14日 1975年 室蘭、岩見沢駅間で国鉄最後の蒸気機関車牽引による定期旅客列車が運転されました。

「さようならSL」のヘッドマークを掲げたC57 135が運行され、これをもって蒸気機関車牽引の定期旅客列車は姿を消しました。

日本で蒸気機関車が導入されたのは1872年、イギリス製の車両が最初でした。ほかにアメリカ製やドイツ製の蒸気機関車が各地の鉄道会社で採用されました。

日本製のSLは1893年イギリス人技術者の指導のもと鉄道庁神戸工場で製造されました。大正時代に入って日本独自の設計で貨物用の9600形（愛称キューロク）や旅客用の8620形（愛称ハチロク）でが作られました。

蒸気機関車の技術は、最後まで世界水準に達することが無かったといわれています。当時の日本の基本的な工業力が低かったこと、そして開発に携わる人たちが革新的な技術の導入に懐疑的であったのが原因のようです。

そのため検修技術や運転技術が高くなり、検修員や機関士の職人芸的な技によって運行されていました。

戦後、石炭不足になやんだ鉄道では、電化とディーゼル化を進めていきました。蒸気機関車の製造は1948年が最後だそうです。1959年に出された「動力近代化計画」では、当時の全営業キロ約2万kmのうち主要線区5000kmの電化と、その他の線区のディーゼル化を行い、蒸気機関車の運転を全廃するというものでした。

蒸気機関車の煤煙から解放されるという意味で無煙化という言い方もされたそうです。

1974年11月には本州から、1975年3月には九州からそれぞれ蒸気機関車が退役しました。そして最後に北海道から姿を消すことになりました。

ところが、1970年頃から、SLブームが起こり、徐々に消え行く蒸気機関車の写真を撮影するファンが絶好の撮影ポイントに殺到するようになりました。

岡山でも伯備線 布原駅付近には多くの人が撮影にやって来たようです。鉄橋の上を力強く走り抜ける三重連結の蒸気機関車は、魅力的な被写体となったようです。

小学生の頃、近くの公園に蒸気機関車を展示することが決まりました。その展示公開の式典に出席したことがあります。その時の記念品に布原で撮影された三重連の写真をもらいました。

それほど SL には興味がありませんでしたが、今でも大切に持っている写真です。

最近では保存と観光をかねて、いろいろなところで蒸気機関車の運行が行われ、梅小路蒸気機関車館では保存や復元の様子が見学できるようです。懐かしいというほどの年齢でもないのですが（笑）力強い SL の姿は魅力的ですよね。

12月15日 1909年 三木忠直氏が生まれました。

高松中（現：香川県高松高校）、第六高等学校（現：岡山大学）を経て東京帝国大学（現：東京大学）工学部卒業後、海軍に奉職し海軍航空技術廠で陸上爆撃機「銀河」、ロケット特攻機「桜花」の機体設計を担当しました。

戦後、国鉄鉄道車両技術者に転身し、初代の新幹線車両、新幹線 0 系電車の先端のデザインを設計したことで知られています。

日本の蒸気機関車の技術は、最後まで世界水準に到達しなかったと言われているのに、その後、新幹線は世界の先端となりました。同じ国鉄の開発であるのに、その転機はどこにあったのかと不思議に思えますね。

それは戦後、空技廠で航空機のフラッター対策を研究していたスタッフが鉄道総合技術研究所へ転職したことでした。国鉄は、陸海軍で研究に従事していた技術者を積極的に受け入れており、三木氏もそうした一人だったようです。

三木氏は NHK の番組「プロジェクト X」のインタビューに対して「自動車関係にいけば戦車になる。船舶関係にいけば軍艦になる。それでいろいろ考えて、平和利用しかできない鉄道の世界に入ることにした」と答えています。三木氏は特攻機を設計して若者達を死に追いやったこと責任を重く感じていたようです。

富士重工は航空機のエンジンを研究していた人々によって自動車を開発したと聞いたことがあります。堀越二郎という優れた航空技術者もいましたし、戦前の日本の航空技術には見るべきものがあったようですね。

12月16日 1936年柴犬が天然記念物に指定されました。

天然記念物に指定されている日本犬の 6 種のひとつ、柴犬は主人に忠実で、知らない人には警戒心が強いので番犬向きと言われ、昔は山間での小動物の狩猟を手伝っていた犬です。

短毛・立ち耳・巻き尾が特徴で、毛色は茶・黒、白などがあります。柴犬はすでに縄文時代から人間とともに暮らしてきたようで、貝塚などの遺跡から犬の骨が出てくるなど、人間の手で埋葬されたと思われるものも多いようです。これらの犬は縄文犬（縄文柴犬）とも呼ばれています。

ところで、柴犬をはじめ、日本犬は、1934 年に日本犬保存会によって定められた「日本犬標準」に名前が挙げら

れている秋田犬、甲斐犬、紀州犬、四国犬、北海道犬のことを言います。また地犬といわれる特定の地域にのみに生息する犬もいます。

川上犬（長野県の天然記念物）、琉球犬（沖縄県の天然記念物）薩摩犬、十石犬、因幡犬など保存に努めている犬種があります。明治に入って洋犬が入ってくると雑種化が進み、次第に日本犬が減っていきました。そこで、1928年には日本犬保存会が設立され保存運動が始まりました。

太平洋戦争の頃には物資の不足から、犬が食料や毛皮にされたこともあったようです。純粋な地犬はこのころから絶滅の危機にあったようです。現在では雑種化したものから戻し交配によって固定種をつくりだそうとする取り組みもあるようです。

狆、土佐闘犬、日本テリア、日本スピッツの4犬種は日本犬を元に外来種を高配して作られた日本原産の犬です。温暖で湿潤な気候になじむ特徴があるようです。

柴犬は大変人気のある犬種です。もちろん洋犬も可愛いのですが、ぴんと立った耳に巻きしっぽ・・・なんともいえず日本人好みなのではないでしょうか。日本人の遺伝子に、柴犬に親近感をもつ遺伝子でもあるのでしょうか。可愛らしさ、たまらないですね。

12月17日 1907年ウゲン・ワンチュクが初代ブータン国王に即位しました。

ブータンと言えば2011年ジグミ・ケサル・ナムゲル・ワンチュク第5代国王と妃が来日したこと、そして世界で最も国民総幸福量（GNH）が高い国として知られています。

その国の初代が即位したのが1907年だなんて、それまではどんな国だったのかと興味を持ちました。

それまで、群雄割拠していたブータンのあたりには、統一された国は存在しませんでした。それが17世紀にチベット人のラマ僧ンガワン・ナムゲルによって、政教ともに権力をもつリーダーとなり中央集権の政府を作りました。

しかしその後2世紀は内戦状態が続き、イギリスが侵略してきます。そんな時、もっとも力を持っていた豪族が初代国王のウゲン・ワンチュクで、ブータンが統一されました。

ところで、国民総幸福量（GNH）は、1972年当時のジグミ・シンゲ・ワンチュク第4代国王によって、ブータンで調査されたものです。その結果は国の政策に活用されているそうです。

2005年の調査では「あなたは今幸せか」という問いに対し、45.1%が「とても幸福」、51.6%が「幸福」と回答したそうです。このときの選択肢は3つしかなくて、「とても幸福」「幸福」「幸福ではない」の3つだったとか。

ブータンの産業は主に農業、人口の7割が農村地帯に住み、小規模な農業で自給自足の暮らしをしています。今の日本人から見れば、あまり裕福とは思えないかもしれませんが、「少欲知足」で、「どんな状況でも心地よさを感じることをモットーとして暮らしているからこそ、ブータンでは幸福量が高いのでしょう。

日本との関係では、農業指導者として派遣された西岡京治氏の業績は顕著で、改善に尽くしたことで1980年には、国王から「ダショー（最高の人）」の称号を授与されました。

1992年に没するまでブータンで仕事を続け、外国人として初めての国葬が行われました。現在も「ブータン農業の父」として敬われているそうです。また一人、すてきな日本人を見つけました。

12月18日 1878年 ヨシフ・スターリンが生まれました。

スターリン（“鋼鉄の人”の意味）と言うのはペンネーム。イオセブ・ベサリオニス・ジェ・ジュガシヴィリと言うのが本名です。言わずと知れたソビエト連邦の最高指導者です。

ブータン式(?)のアンケートで「スターリンは好きか」と日本人に尋ねれば

- 1 大嫌い
- 2 嫌い
- 3 どちらかと言えば嫌い

たぶん、ほとんどの人が嫌いだと思います。アメリカのトルーマンより、ドイツのヒットラーより、中国の毛沢東より、ずっと嫌いでしょうね。

ロシア国内でも評価は二つに分かれるようですが、ドイツの侵攻をとめた英雄でソ連を繁栄に導いたリーダーの反面、多くの犠牲を払って中央集権国家を確立した残虐な独裁者でもあります。当時はアメリカでさえ、軍国日本をつぶした盟友と目されていたわけですから。

スターリンにちなんだ名前のついた都市、スターリングラードは1961年にはヴォルゴグラードに改名し、1977年にはソ連の国歌からスターリンの賞賛部分が差し替えられました。

その後、東西冷戦の終結後、姿を消したかと思われたスターリンでしたが、今年になって、一時撤去されていたスターリン像が故郷のグルジアに復活するとか、ヴォルゴグラードでは記念日に限ってスターリングラードと呼ぶようにするとか、スターリンが再び注目され始めているようです。

世界中で閉塞感ただよう中、強かったソ連時代のリーダーを懐かしむ気持ちの表れでしょうか？

昨年、中国の反日デモで毛沢東の肖像を掲げた人がいたことにも驚きましたが、まさかスターリンも・・・。

国民を鼓舞し、国力を高めようとするための象徴として、毛沢東やスターリンはどうなのかと思うのですが・・・

12月19日 1915年アロイス・アルツハイマーが亡くなりました。

アルツハイマー症（アルツハイマー型認知症）と呼ばれている症例を最初に発表したドイツ人の精神科医です。

アルツハイマー医師は、ミュンヘン大学に勤務しており、師にエミール・クレペリンがいました。認知症のなかの「レビー小体型認知症」に名前を残しているレビー医師もクレペリンの弟子になります。クレペリンといえば、就職試験でやらされたことがある人もおられるかもしれませんね。

ところで、このアルツハイマー先生、体も大きかったし、どうも喧嘩っ早かったようで、左の目の下に大きな「男の勲章」があったらしいです。

アルツハイマー症のきっかけは、1901年に嫉妬妄想・記憶力低下を訴える51歳の女性を診察したことに始まります。彼女は発症後5年を経過していましたが、すでに自分の名前もうまく書けない状態だったようです。

5年後に亡くなった彼女の脳を解剖したところ、神経細胞の大幅な減少と大脳皮質の萎縮、大脳皮質全体に斑状の物質が沈着しているといった今で言うところの典型的なアルツハイマーの病理変化が見られたそうです。

こうした研究結果を1906年学会に発表し、広く世間に知られるようになりました。

先日 国際アルツハイマー病協会（ADI）は、世界で認知症に罹っている人は4400万人、2030年には7600万人、2050年には1億3500万人に達するだろうと発表しました。そして、現在高所得国に多い認知症が、だんだん中低所得国でも増加し、2050年では認知症患者の71%が中低所得国で占めるようになるだろうとも言っています。

認知症の治療法が開発されれば、この推定値は、断然下がってくると思いますが、ADIのビジョンは世界で認知症にかかった人々とその家族の生活の質を向上することで、そのために患者とその介護人を支援するとともに、認知症に対する関心を高める運動を推進すべきだとも言っています。

人が長生きできるようになったのは、素晴らしいことですが、家族で介護をするのは容易なことではありません。社会の仕組みや人々の関心が高まることを期待したいです。

12月20日 1857年（安政4年11月5日吉田松陰が松下村塾を引き継ぎ、開講しました。

会津の子供たちが「什の掟」を基にした「会津っ子宣言」を青少年育成の指針にしているように、山口県萩の子供たちは、吉田松陰の教えを毎朝唱えるのだそうです。

各学年、1学期ごとに言葉は変わるようですが、なかなか難しい内容です。

例えば、1年生の1学期には

今日よりぞ 幼心を打ち捨てて 人と成りにし 道を踏めかし。

そして6年生の3学期ともなれば

天地には大徳あり 君父には至恩あり 徳に報ゆるに心を持ってし 恩を復すに身をもってす 此の日再びし難く 此の生復びし難し この事終えざれば、此の身息まず。

どこの学校でも、同じように行うのかどうかは分かりませんが

「至誠にして動かさざる者は、未だ之れあらざるなり」は有名なようです。

吉田松陰といえば、幕末の志士を多く輩出した松下村塾で講義したことで有名です。松下村塾は、あまりにも有名ですが、松陰が関わっていたのは、足掛け2年と言う短い期間でした。にもかかわらず、多くの子弟が松下村

塾に集まったのは、先行き不透明な世の中の突破口を松陰の教えに求めていたのかもしれない。

八重の桜でも小栗旬さんが好演していましたが、どんなことも見てやろう、聞いてやろうという知識欲の強い、行動力のある人物であったようです。それが松陰のモットーのひとつ「飛耳長目」であったのでしょうか。塾生にも情報を収集し将来の判断材料にせよと教えていたそうです。

再来年の大河ドラマは、松陰の妹、文さんの生涯を描く「花燃ゆ」に決まったそうです。文さんの生涯にも興味がありますが、兄、松陰はどのように描かれるのでしょうか。

それにしても、郷土の偉人を誇りに思い、今でもその教えを朗読しているとは、さすが最も首相を多く出した県ですね。うむ？関係あるかしらん？

12月21日 1913年クロスワードパズルが「ニューヨークワールド」誌に掲載されました。

クロスワードパズルは、「カギ」と言われるヒントを元にタテ、ヨコに言葉を入れて白マスを埋めていくお馴染みのパズルです。

最初に制作したのは、アーサー・ウィンという記者で、「ニューヨークワールド」紙の日曜版の付録「ファン」にその後多くの新聞、雑誌に掲載され人気になっていきました。

日本では1925年に「サンデー毎日」に掲載されたのが最初だと言われています。アルファベットで埋めるクロスワードパズルに比べて、日本語のカナ、もしくは漢字で埋める分は、ちょっと制約が多いようです。

クロスワードの専門雑誌があったり、懸賞のクイズになったり、黒まさんがない種類や「カギ」がないもの、数字を入れていくもの、同じ数字に同じカナをいれるものなど種類もたくさんあって楽しいものです。

また、外国のものには、黒まさんが綺麗なもの、全体の形が整っているものなど、見た目にも楽しいものが多い気がします。ふと開いた雑誌にクロスワードや数独があって、ちょっと解答しているうちに思わぬ時間をとってしまい「こんなことしている場合じゃないのに・・・」と思いつつ、気になってしょうがない、そんな経験ありませんか。

ボケ防止と言って、おふくろが数独に夢中です。「一緒に考えろ」とか「解いてみろ」とかうるさくてかないません。ボケ防止のためにしているんだから、教えろはないだろうと思うのですけどね。

12月22日 1902年 年齢計算ニ関スル法律が施行されました。

それまで「数え年」で年齢をあらわしていたのが、この法令によって「満年齢」を使用するよう定められました。「数え年」は生まれた時が一歳で、その後元日を迎えるごとに一歳増えていく年齢の表し方です。

仏教の考え方では、母体にいるときから年齢があるので、生まれた時を一歳としました。

しかし最近「数え年」の概念が理解できない時代になりましたね。若い人は「数え年？なんすか、それ」です

よね。厄年や享年を表す時に使うようですが、それも減っているようです。

昔は生まれる子供の数は多いのに新生児や幼児の死亡率が高かったので戸籍の管理を簡素化するとか、太陰暦は閏月があったために満年齢が数えにくかったとか理由はあるようです。「慶応二年の生まれなら、全員五歳」みたいな感じ？

ところが、1902年に法律が施行されても、年齢を「数え年」で表す慣習はなかなか改まらなかったようです。戦後1950年1月1日には「年齢のとなえ方に関する法律」が施行されてから徐々に使われなくなりました。

1950年に法律が出されたのには、食糧配給の不合理的を解消するという大きな目的があったようです。例えば12月に生まれた子供は正月（旧暦）を超えれば「数えで2歳」になります

。2歳にはキャラメルの配給があったそうですが、生後2ヶ月の子供にキャラメルはいりません。

また、60歳になると配給が減らされたそうですが、おなじような理由で生まれ日が数日違うだけで、1年間配給が多い人と少ない人が出るのとは公平ではないとのこと。

また女性は結婚する時少しでも若い方が有利というので12月生まれは、すぐに出生届けを出さず年が明けてから届けるという場合も少なくなかったようで、正しく出生届け出すことを推進するためでもあったようです。

12月23日 1882年江崎利一が生まれました。

江崎という実業家と言えば「江崎グリコ」の創業者、そう「ひと粒300m」とゴールインマークで有名なあのキャラメルの会社です。グリコのキャラメルといえば「おまけ」も印象的でした。

江崎利一氏は牡蠣に含まれるグリコーゲンが健康増進に役立つと知り、子供のための食べ物、お菓子を作ろうと考えました。当時10歳の息子がチフスの罹り、医師がさじを投げるほど衰弱したのですが、牡蠣エキスを与えたところ体力を回復したことから、「グリコーゲンで事業を起こす」ことを志したそうです。

1922年2月11日に大阪の三越百貨店で「グリコ」キャラメルを発売したのが始まりです。乳酸菌を配合したクリームをサンドした「おいしくてつよくなる」のビスコが発売されたのが1933年、どちらもまだ子供の栄養が良くない時代、おいしくて楽しくて健康になるものを目指して作られました。

今となっては、後付けの大義名分かもしれませんが、子供を健康に元気にするために商売をはじめたなんて昔の人は「やっぱりすごいな」と思うのです。

12月24日 1777年 ジェームズ・クックが太平洋の小島にクリスマス島と命名しました。

イギリスの冒険家、キャプテン・クックが3回目の航海で到達した島で、珊瑚礁の島としては最大級の面積が388平方キロメートルあります。これは東京23区に相当する広さです。

島の形は、まるでムササビが空中を飛んでいるような形で、全体が、さんご礁のため農産物の収穫は見込めず、

漁業、塩作りや観光、ヤシの実の加工品などが主な産業です。

クックの航海日誌にはクリスマス島に上陸してウミガメを多数捕獲したと記載されているそうです。そしてクックはこの島の潜在力におおいに期待したようです。1894年からイギリス領として統治されましたが、1979年に独立してキリバス共和国クリスマス島となりました。

世界で最も東の標準時 UTC+14 を採用していますが、経度から見ればハワイとほぼ同じで、日付変更線の西にあります。

はじめは無人島だったようですが、今では 5000 人ほどの人が暮らしているようです。キハダマグロやカジキマグロ、ロウニンアジ、大型のハタ、イルカやマンタなどが周辺に棲んでおり、ここにしか生息しない固有種のエンゼルフィッシュも数種生息しています。豊かな餌によって夥しい数の海鳥が島も棲息しているので、保護地域が定められています。

ただ、キリバスと言えばツバル、フィジーなどと同様に海面上昇で陸地が無くなっているとか……。美しい南のさんご礁の島が消えていくなんで悲しいこと、効果的な対策ってないのでしょうか。

12月25日 1642年アイザック・ニュートンが生まれました。(ユリウス暦)

ニュートンは、万有引力の法則を発見したことで有名ですが、物理学者だけでなく哲学者、自然哲学者、数学者、神学者としても業績があるようです。

子供の頃に読んだ伝記で、万有引力を発見するきっかけになったのは、木からリンゴの実が落ちるのを見たからだと書いてあった気がします。

本当のところは分かりませんが、ニュートンの実家は農家で果物を育てたり家畜を飼ったりしていたので、リンゴの実が落ちるのをみる機会はたくさんあったはずです。社交界で、婦人たちに説明するときにはリンゴの例えが分かりやすかったためとも言われています。

逸話と言え、研究や論文の作成に夢中になったニュートンは、卵の代わりに懐中時計をゆでたとか、ズボンを履いていないことに気づかず外出したとか、馬がつながれていない手綱を引いて歩いていたとかたくさんあります。

またニュートンのことを知っていたスウィフトは、ガリバー旅行記中でニュートンをモデルにした人物を登場させています。皮肉屋のスウィフトは、どうもニュートンのことをよく思っていなかったようですが……

ニュートンの実家があったウールズソープの庭のりんごの木は、初代は枯れてしまいましたが、接木で増やしたものが各地で育てられ日本にも何本かあるようです。「フラワー・オブ・ケント」という種類で熟した果実は全て落下し保存がきかないため、販売には向かないのだとか。当時もおもに料理用だったようです。

落ちにくいリンゴだったら、万有引力の法則はどんな逸話とともに伝わっていたのでしょうかね。

12月26日 1859年（安政6年12月3日）片山潜が生まれました。

片山潜は、今の久米郡久米南町羽出木に生まれ、幼少の頃は藪木菅太郎と言いました。その後片山家の養子となり、苦学しながら岡山師範学校に通いました。

1881年には師範学校を退学し上京、そこでアメリカでは貧乏でも平等に学問ができると聞きカンパや借金でアメリカに渡りました。

アメリカでは、皿洗いなどをしながら足かけ13年、グリーンネル大学で文学修士、エール大学で神学士の資格を得て1896年に帰国しました。

アメリカに滞在中、労働問題や社会問題に目覚めキリスト教にも入信しています。

帰国後は、貧しい人たちの立場に立って社会運動をしたり、労働組合運動のはしりのような活動をし「日本労働運動の父」と呼ばれました。

明治時代は武士の身分を失った士族や地租改正で税金が重くなった農民など、社会が混乱し貧困層も多かった上に、外国の文化や学問が入ってくると、いろいろな思想が生まれます。そんな中で片山潜は、社会主義・マルクス主義に傾倒していったものと思われます。

1910年には大逆事件が起こり、国内にいられなくなった潜は、妻と3人の子供を残して1914年アメリカに脱出しました。

潜は1933年にモスクワで亡くなっていますが、それまで日本に帰国しなかったようです。モスクワでの葬儀には15万人のソビエト市民やコミンテルン指導者らが集まり、柩にはあのスターリンも付き添ったそうです。

片山潜は、あくまで貧しい人々の立場に立った社会主義運動で、過激な共産主義者ではありませんでした。しかしながら、日本の近代化において潜の労働運動は大きな意味を持っていたようです。

でも正直なところ何が偉かったのか分からないのですが、岡山県出身の有名人ということで取り上げてみました。

いまでこそ社会主義、共産主義は世間に受け入れられないものとなりましたが、戦争直後には、まさにユートピアの国と考えられていたのですから・・・。

岡山には、キリスト教や社会主義に関わった偉人が多い気がします。岡山は宗教家も多いことから、なにか県民性か風土と関係するものがあるのかと思えます。

12月27日 1904年「ピーターパン」がロンドンのデューク・オブ・ヨークス劇場で初演されました。

この作品は、イギリス、アメリカで何回か公演されましたが、本格的なミュージカルになったのは1954年のブロードウェイでの公演からになります。

この公演は『ウェスト・サイド・ストーリー』『屋根の上のヴァイオリン弾き』等を手掛けたことで知られているジェローム・ロビンス演出・振付によるものでした。

また 1975 年のリバイバル公演では、ロングランとなりました。

日本でも、ホリプロダクションによる、ブロードウェイミュージカル「ピーターパン」は有名で 33 年間、夏になると公演が行われています。日本公演のきっかけは、和田アキ子が海外で見て面白いと思ったからだそうです。

初代ピーターパンの榎原郁恵が、空中浮遊をすることは当時話題になりました。今では 10 代目のピーターパンが元気に宙を舞っているようです。

ところで、ピーターパンと言えば、ジェームス・マシュー・バリーの戯曲として知られ、「大人になりたがらない少年」として執筆されたものです。

そしてバリー氏はピーターパンの著作権をロンドンの小児科病院に寄付しています。そのことから子供のための基金にピーターパンの名称が使われることがあるようです。日本にも 1993 年(財)日本児童家庭文化協会内に日本「ピーターパンこども基金」が設立されました。

またピーターパン生誕 100 年を記念して件の小児科病院によって公式の続編が募集され「ピーターパン イン スカーレット」が決まりました。この著作権も小児科病院に譲渡されています。

だれひとり 除くことなく
全ての子供たちが育つこと
そして なにをするにも
いつも子供たちが先で
それから 私たち

バリーの言葉です。生まれたばかりで亡くなる子供も少なくありません。それは忘れてはいけないことです。

12 月 28 日 1904 年堀辰雄が生まれました。

今年、発表された宮崎駿監督の映画「風立ちぬ」のタイトルは、堀辰雄の小説「風立ちぬ」からの借用で、内容もオーバーラップする部分があります。

堀越二郎と堀辰雄に敬意を込めてとポスターにも書かれています。宮崎監督は、堀辰雄のどんなところに魅かれていたのでしょうか。

残念なことに、映画をまだ見ていないことと「風立ちぬ」を読んだのは、ずいぶん前のことでよく覚えていないのです。高校生の時「必読 100 冊」のなかに「風立ちぬ」は入っていたと思います。そういうときに読んだものだから、印象が薄いのでしょうか。まだ人生の機微が分らない頃でしたし……

堀辰雄は、当時「私小説」が主流となっていた日本の小説の流れの中に、フィクションによる「作りもの」とし

てのロマンというジャンルを確立しようとした作家です。

「風立ちぬ」のなかに引用されている「風立ちぬ、いざ生きめやも」のフレーズは、ポール・ヴァレリーの詩『海辺の墓地』の一節で、そういうところもロマンを感じます。相当しゃれた感じがしたに違いありません。

後進の世代の立原道造、中村真一郎、福永武彦、丸岡明など堀の弟子のような存在として知られています。確かに、流れを汲んでいるように思いますね。

宮崎監督は、病気を闘いながら、長く生きられないと感じていた堀辰雄の生きることへのエールや、戦争中に生きていた人に比べ、今の若い人が簡単に自殺してしまうことを憂い、その前に考えて欲しい。そういう願いを込めたのですかね・・・

堀辰雄が書きたかったこと、宮崎監督が伝えたかったこと、それぞれを いながら「風立ちぬ」の小説を読み、映画を見たいと思います。 風立ちぬ、いざ生きめやも

12月29日 1800年チャールズ・グッドイヤーが生まれました。

グッドイヤーと言えば、アメリカの有名なタイヤメーカーですが、チャールズ・グッドイヤーはこの会社とは直接関係はありません。「ゴム産業界の父」と言われるチャールズ・グッドイヤーにちなんで社名が付けられたものです。

チャールズ・グッドイヤーは極貧の中でゴムの加硫法を発明しました。ゴムをはじめて紹介したのは、コロンブスと言われており、プエルトリコとジャマイカに上陸したとそこで原住民が大きく跳ねるボールで遊んでいるのを見てとても驚いたそうです。

その後、ゴムはヨーロッパに伝わりましたが、文字消しやおもちゃ程度にしか利用されることなく、200年あまり科学的に研究されることもありませんでした。1830年ごろ、ゴムは新素材として注目されていましたが、夏は溶けてベトベト、冬は硬くコチコチと製品にはならないものでした。

そんなゴムに興味を持ったのがグッドイヤーでした。どうしたら、温度に影響されることなく、適度な弾力をもったゴム製品が出来るか、様々な実験を続けました。しかしながら、簡単に方法が見つかることも無く、家族とともに極貧の生活を強いられました。

12人の子供のうち6人は幼いうちに亡くなっています。ゴムは臭いし、有毒ガスは出るし・・・彼の発明を支え続けた妻、クラリッサ・ビーチャーはすごいです。失敗したら食べられるようなものだったら、まだマシだったでしょうに。

ついに1844年加硫ゴム（バルカナイズ製法）の特許を取得しました。この特許取得も、最高裁で闘わなければならないほど特許侵害が頻発しました。特許の収入があっても借金が多くて、グッドイヤーが亡くなったときでも20万ドルの借金が残っていたそうです。

1976年、グッドイヤーはオハイオ州アクロンの「発明者の殿堂」にノミネートされました。ゴムにしても硫黄に

しても臭くて人が研究したがない物質ですが、それに十数年取り組んだわけですから、その執念は大したものだと思います。

有名なタイヤメーカーにその名を残してもらえたことで、この苦労続きのゴムの発明を記憶にとどめることが出来ますね。

12月30日 1924年エドウィン・ハッブルが系外銀河の発見を論文で発表しました。

ハッブルと言えば、ハッブル宇宙望遠鏡にもその名前を残しているアメリカ人の天文学者で、私たちが住む銀河系の外にも銀河が存在することや、それらの銀河からの光が宇宙膨張に伴って赤方偏移していることを発見しました。

「遠い銀河ほど速い速度で遠ざかっている」という法則性はハッブルの法則と名づけられました。この業績により、宇宙全体が風船のように膨張していることが明らかになったのです。

1930年にはアインシュタインはハッブルの撮影した銀河の写真を見、静止した宇宙という自分の宇宙モデルの考えを改めるほかありませんでした。

ハッブルは天文学を独立した科学の一分野ではなく、物理学一つにみなされるように啓蒙活動をしました。そうすれば、天文学で優れた業績を残せばノーベル物理学賞の対象になるからでした。

結局ノーベル賞委員会が天文学を物理学の範疇に含めると決定したのが、不幸にもハッブルが亡くなった1953年、ハッブルはノーベル賞受賞の通知を受ける直前の1953年9月28日に死去したため受賞をのがしました。

宇宙のことは、いまだ分らないことがたくさんありますが、さあ・・・これが小さな人類でどこまで解明できるのか、数字や理論で証明できても、実際に体験することは難しいから・・・

12月31日 1869年アンリ・マティスが生まれました。

アンリ・マティスは、フランスの画家でフォーヴィスムのリーダー的存在として、そして20世紀を代表する芸術家の一人と言われました。自然をこよなく愛し「色彩の魔術師」と謳われます。

マティスが絵画を志そうと思ったのは21歳を過ぎてからで、ギュスターブ・モローの教室に聴講生として内面的なデッサン・自由な解釈による模写を学んでいきました。

マティスは、絵画は平面に無理やり自然を切り取ったものを表現するのではなく、平面であるがゆえに平面的に、そして自然にはない色で表現することを目指しました。

小気味よい躍動感ある模様が並ぶさまは、バランスのよいデザインを見ているような感覚です。色使いはまるで包装紙のような鮮やかさがあり、配色が絶妙です。

マティスの作品は、『画家の娘—マティス嬢の肖像』が大原美術館にあります。これは、マティス本人が気に入っ

て長らく手元に置いていた作品を、児島虎次郎が無理に譲ってもらったものだそうです。

晩年、体力の衰えたマティスは切り絵で作品を作っていました。水彩絵の具で着色した紙を鋏で切り抜き、助手たちが彼の指示で切り紙を下紙にピンで止め、満足のいく配置になると糊付けをしていったそうです。

デザイン的要素が極まり、ポップな作品が目を引きまます。現代でも十分通用するデザインは、学ぶところがありそうです。